

彩の国 企業探訪



株式会社 コミュニティコム

～人がつながる・仕事生まれるコミュニティの中心地を目指して～

起業家、フリーランス、会社員から学生まで、多様な人たちが集まり、仕事場などを共有する場所、「ワーキングスペース」というものがある。働き方改革や、新型コロナウイルス感染拡大に伴うリモートワークなどによって注目の業種である。今回、紹介する株式会社コミュニティコムは、埼玉県内のワーキングスペースの先駆けとして2012年に開業した。JR大宮駅から徒歩1分というアクセスの良さに加え、星野邦敏社長の人懐こいキャラクターなどにより、事業は順調に推移し、2016年より入居中のビル内に増床し、シェアオフィスや貸会議室の開業に至った。星野社長にビジネス展開の戦略や地域活性化への想いなどを語っていただいた。

大学を出て5年間“ひきこもり”へ

星野社長は2001年のいわゆる就職氷河期に大学（中央大学法学部）を卒業したが、就職に失敗し、アルバイトやフリーターを続けるなかで“ひきこもり”になってしまった。5年間のひきこもりの中で、2003年9月に先天性の首関節の疾患で手術入院中に大学時代の友人に「ホームページ入門」の本を貰い興味を持ち、Web制作を始める。2004年2月、退院後に初めて作ったWebサイトは自分の入院日記だった。その後、趣味として運営していた複数のWebサイトに広告がつくようになっていった。

2006年1月、将来を考え税理士法人へ就職。大学時代の友人の多くが弁護士や公認会計士などの資格を取得しており、「将来IT化やAIなどの導入が進んでも、税理士の仕事は最後まで残るのではないか」という安易な考えからだった。税理士法人で税理士資格取得のための勉強を、またサラリーマンとして会計や税務の仕事もしながら、勤務先より公認の副業で、Web制作とインターネットメディア広告を事業化し、個人事業主として創業する。

事業は順調に拡大し、自社運営のWebサイト

だけでなく、他の企業からもWeb制作を依頼されることが増加したことなどを踏まえ、2007年11月に税理士法人を辞め、法人化の準備を進める。2008年1月にさいたま市内の実家をオフィスとする株式会社コミュニティコムの設立となった。

幅広いクリエイティブ事業も展開

その後、都内（北区赤羽）のインキュベーション施設に事務所を構え、個人事業主として創業したメディア運営を中心にクリエイティブ事業を本格的に開始した。

当時、国内ではまだまだ黎明期にあったオープンソースCMS（コンテンツ・マネジメント・システム）であった「WordPress」（現在のCMS世界シェア60%）に関する事業を開始したのである。自社メディア運営事業だけでなく、他社向けのWeb制作、CMS構築、システム開発やライティングなどの請け負いを開始するなど業務を徐々に広げていった。

2012年3月にはWordPressに関する書籍を初出版した。以降、星野社長はWordPress関連書を中心に20冊以上を執筆し、法人として出版し

長年の経験を生かした幅広い制作や
運営を展開する
クリエイティブ事業

ホームページ制作

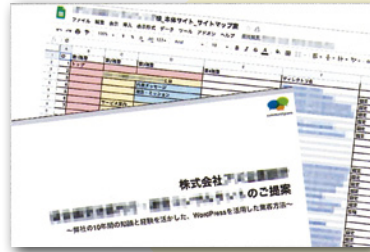


サーバー契約やドメイン取得など複雑な作業不要で、手軽に HP 制作が始められるサービス。



HP 制作の一部をプロに任せるパターンオーダーと、オリジナルで作込むフルカスタマイズのプランを用意。

コミュニティコムショップ



数々の web サイト制作に携わったプロチームによる WordPress 用のテーマやプラグイン、アドオンを制作・販売。

**WordPress
関連書籍の執筆・監修**



大宮経済新聞・浦和経済新聞

地域メディア「みんなの経済新聞ネットワーク」の大宮経済新聞、浦和経済新聞として、インターネット媒体で地域情報を発信。大宮・浦和周辺の地域の活性化を行っている。

ている。現在では、関連書籍の執筆等だけでなく、WordPress 関連として Web サイトの企画・制作・運営を行っている。

またメディア運営として、“地元のハッピーな話題”を発信する Web メディア「大宮経済新聞」「浦和経済新聞」を配信している。これらは全国・海外に約 130 ある地域メディア「みんなの経済新聞ネットワーク」の一つで、営業開始 8 年が経過して、すでに 2,100 を超える地域情報ネタを掲載している。

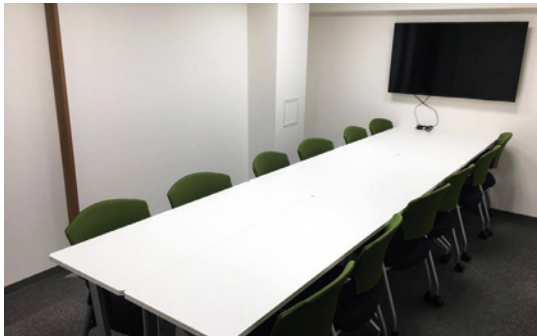
埼玉県内のコワーキングスペース事業の先駆け

2012 年に大きな転機が訪れる。それまで入居していた都内の事業の拠点のオフィスが東日本大震災後の耐震診断の結果、取り壊されることとなった。星野社長は予めより考えていた、「地元さいたま市に戻っての事業」を念頭に動きだす。

そこで新たな出会いが生まれる。知人の紹介で、大宮駅前の銀座通り商店街にビルを持つ栗原氏（現大宮銀座通り商店街会長）と会うことができた。東日本大震災後に自社ビルの空室解消に動いていた栗原氏と星野社長の考える新しいビジネスへの想いが合致したのである。栗原氏の所有するビルに事務所を移転すると同時にオフィス形態をスタッフのみが使うスペースではなく、ビジネスとして不特定多数の人が利用できるスペース「コワーキングスペース」とする新規事業だった。

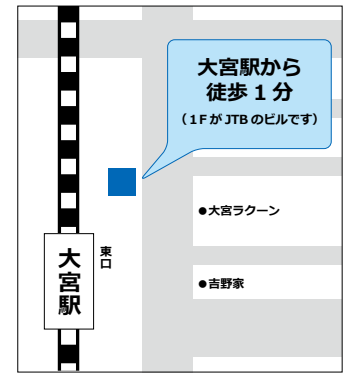
埼玉県内最大のターミナル駅である JR 大宮駅東口から徒歩 1 分の立地に約 65 坪のコワーキングスペースとして「コワーキングスペース 7F」が誕生した。創業時、事業の将来性には確信があった星野社長は、開業時間を午前 7 時～午後 11 時までとし、星野社長と 2～3 人のアルバイトスタッフからスタート。仕事や勉強、打合せなどに利用可能なオー

8 F



貸会議室 8F 分室

貸会議室の分室として貸出。以前から要望の多かった完全クローズドなスペースで、レンタル教室としての利用も可能。定期利用には優待有。



7 F



コワーキングスペース 7F (ナナエフ)

仕事や勉強、打ち合わせなどの利用が可能なオープンスペース。電源完備で無料のWi-Fi・ドリンクバーが利用可能。オープンスペースは飲食や私語も可能なので、打ち合わせをしながらの作業や利用者様同士の交流の場としても利用可能。

- 一時利用：2時間 500円、1日 1,000円 (税込)
- 月額利用：9,000円 (税別) ~
- 営業時間：7:00 ~ 23:00

6 F



貸会議室 6F (ロクエフ)

可動パーティションを利用することによって定員12名~52名までの複数の貸会議室を提供。ビジネスミーティングや採用面接からセミナールームやイベントスペースなど多様な利用ができることが特長である。プロジェクターやマイクセットなど各種備品は無料で借りることができる。

- 一時利用：1時間 2,000円 (税別) ~
- *定員52名で利用の場合は1時間 9,000円 (税別) となっている。(定期利用の割引制度あり)
- 営業時間：年中無休、7:00 ~ 23:00



シェアオフィス 6F (ロクエフ)

定員1名(2.81㎡)から最大3名(7.08㎡)個室を17部屋を用意。住所利用や電話番号提供、登記利用などビジネス展開の各種サービスを提供。全席で電源、鍵付きキャビネットと高性能なワークチェアが備え付けとなっており、利用者は併設しているコワーキングスペースの利用権や貸会議室の無料利用などの特典もある。

- 定期利用：1か月 45,000円 (税別) ~
- 登記可能/コワーキングスペースや貸会議室利用特典あり
- 営業時間：年中無休、7:00 ~ 23:00

オープンスペースで、集中スペースやソファ席、電話可能なエリアなど様々なタイプの席も用意されている。利用目的やその日の気分に合わせて場所選びができる。オープンスペースでは飲食や私語も可能となっており、打ち合わせをしながらの業務や利用者間の交流の場所としても活用できる。もちろん電源完備で無料のWi-Fi・ドリンクバーもある。月極会員やふらっと立ち寄れる一時利用(ドロップイン)もできるのも嬉しいサービスである。開業当初は月間利用者は700人だったが、現在は3,000人を超えている。月極会員も140事業者(人)となり、起

業した人、大企業のテレワーク、フリーランスの人などがメンバーとなっている。

2016年には同じビルの6階部分を借り、コワーキングスペースの利用者の声を反映させ、個室スペース「シェアオフィス6F(ロクエフ)」と「貸会議室6F(ロクエフ)」を開業し、翌年7月貸会議室6F(ロクエフ)をフロアを増床して、8階を貸会議室・レンタル教室の運営を開始した。

2018年には、遊休不動産を持つオーナーやホテルオーナーに対して、貸会議室の運営代行・送客代行の事業を始めた。

創業支援と地域活性化に向けた新たな挑戦

曜日と時間でお店が変わるシェアキッチン 「CLOCK KITCHEN」

全国の地方都市を中心に、それまでの地域住民の生活や営みの中心だった商店街の疲弊が言われて久しい。経営者の高齢化などによる後継者が見つからずに営業が継続出来ないというケースも多い。これは当社がある大宮駅銀座通り商店街でも例外ではなかった。地元で長年愛されたタバコ屋の閉店に直面し、どのように次世代に活用しようかと相談を受け、星野社長が立ち上がったのが、このシェアキッチン「CLOCK KITCHEN」である。

その特長は商店街の空きスペースを活用して、飲食店舗の創業支援をするというものである。

▶自分の店が持てる

「飲食店営業」、「食料品販売業」、「菓子製造業」の許可が取れ、キッチンを共有して自分のお店として使え、その上に自分の屋号でお店を開業できる。

▶週1回、5時間で5,000円～

週1コマ（平日5時間の利用）で5,000円＋売上5%から始められるのも魅力の一つだ。飲食店の開業資金は必要なく、初期保証金5万円でスタートが可能である。

▶大宮駅から徒歩3分の好立地

大宮駅は埼玉県内の乗降客数No.1である。そこから商店街を徒歩3分。人通り抜群の1階の路面店だ。

さて、本稿で紹介したCLOCK KITCHENは第1号店で、2020年4月に開店した。評判は



上々で、同じ大宮駅東口に2号店、3号店の開店に向けた取り組みも行っている。

働き方改革や副業の容認、コロナ禍でのリモートワークなどのニューノーマルの進展などによって、コワーキングスペースやシェアオフィスへの需要は益々高まるものと予測される。大宮駅から徒歩1分という好立地を活かして、コワーキングスペース、シェアオフィスや貸会議室などの“フルラインナップ”で利用者の要望に応えるとともに、利用者間のネットワークキングの支援や地域活性化に向けたクロックキッチンなどの、クリエイティブ事業に人がつながる・仕事生まれるための大宮エリアでのコミュニティの中心となるべく事業を推進していく。

これからも、この大宮駅周辺で様々なバックグラウンドを持った人が活動できる場を創り出し、インターネット技術を通じて多様なサービスを展開していくことで、地域社会の活性化や社会の課題解決に貢献していきたいと語る。

企業概要

株式会社コミュニティコム

<https://www.communitycom.jp/>

代表取締役：星野邦敏

設立：2008年1月

事業内容：不動産運営事業、クリエイティブ事業

本社：さいたま市大宮区宮町1-5 銀座ビル7階

電話番号：048-729-5197

取引店：大宮支店

